

家族防災会議の日

令和3年8月22日（日）午前8時30分スタート

防災無線の一齐放送がスタートの合図です。

今年度も市防災訓練は、新型コロナウイルス感染症対策として、例年各区で実施をしている「一時避難訓練」「安否確認訓練」を行わず、**家族防災会議の日**として、ご家族やご友人と防災について話し合ってください。



1. 家族防災会議の日 訓練メニュー

①午前8時30分に防災無線の一齐放送

「緊急地震速報 / 大津波警報」

②各自が「シェイクアウト訓練」を実施



- (1) 姿勢を低くし
- (2) 頭を守り
- (3) 動かない

※各自が、居所で身の安全を守る3つの行動をとる訓練です。

③自宅で「家族防災会議」のスタート

2. 家族防災会議の議題

災害時には家族全員の協力が必要です。日頃からの防災への取り組みが被害の軽減につながります。今回は、全国的に頻発・激化する「洪水・土砂災害」に備え、家族や友人と「避難行動」について話し合ひましょう。

本日の議題

「避難行動」を確認しよう!

洪水・土砂災害に備え

①自宅等の災害リスクの確認

洪水・土砂ハザードマップを確認!

自宅や事務所等が「洪水浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」に該当しないか確認してください。想定浸水深や急傾斜地など災害リスクを事前に把握してください。

②安全な避難場所の確認

避難場所の位置・ルートも確認!

洪水・土砂災害の場合は、「4つ条件」が確認できれば「屋内安全確保」も可能です。避難場所への移動リスクも含め、避難先を検討してください。

- ※「4つの条件」
- ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
 - ②浸水深より居室が高い
 - ③土砂災害警戒区域に入っていない
 - ④水がひくまで我慢でき、水・食糧の備えが十分

③災害に応じた避難行動を確認

「新たな避難情報」について確認!

※令和3年5月から避難情報が変わりました

洪水・土砂災害の場合は、「避難情報」が発令されます。事前に避難情報の取得方法や、とるべき「避難行動」を確認してください。

「感染リスク」への備えも重要!

※避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

災害への備え「3つの知る」

「防災メール・アプリ」

防災災害情報を知る

「防災講座・ハザードマップ」

災害リスクを知る

「避難所・非常用持出品」

災害対応を知る



- いつ発生するのか分からない災害に備えるため「防災 / 災害情報」「災害リスク」「災害対応」について事前に知っておく必要があります。
- 知っていることで、ご自身やご家族の大切な命を守ることができます。
- まずは、「防災メール / アプリの登録」「ハザードマップの確認」「非常用持出品の準備」から災害への備えを始めてください。



ハザードマップ / 避難マニュアルについて▼



※家族防災会議子チェックポイントと合わせて確認してください。

